

生産計画書

- 1 農産物名(品種名) 水稻(早期:冬期湛水コシヒカリ)
- 2 栽培区分 特別栽培農産物(節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減)
- 3 適用地域(市町名) 西予市 宇和町
- 4 作型 水稻(早期:冬期湛水コシヒカリ)

作型 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稻(早期米: 減農薬コシヒカリ)				○	△				□			

○は播種 △は定植 □は収穫 ■は出荷

5 施肥管理計画

施用時期		減化学肥料栽培			栽培基準による10a当たり化学合成窒素成分量(kg/N) ②	削減率 (1-①/②)×100 (%)
		使用資材名	10a当たり 施用量 (kg)	10a当たり 窒素 成分量 (kg/N)		
栽培 ステージ	標準時期					
土作り	2月上旬～ 4月上旬	鉄強化美土里	60			
育苗 (委託)	4月上旬～ 移植日	キセキ育苗(粒状)培土ライト	70	0.02	0.02	
基肥	5月上旬～ 5月中旬	有機入り セフコートR266	40	4.80	2.40	
計			170	4.82	2.42	6.0 59.66%

前作からの変更点無し

6 病害虫・雑草防除計画

施用時期		減農薬栽培				栽培基準 による 10a当 たり農薬 使用 成分数 ②	削減率 (1-①/ ②×100) (%)
		対象病害虫 及び雑草防除	使用農薬名① (成分数)	使用基準	代替技術		
栽培 ステージ	標準時期						
種子消毒	4月上旬	シガレセンチュウ			種子 更新		
	4月中旬	ばか苗病・いもち病 ・もみ枯細菌病 ・苗立枯病	テクリト [®] Cフロアブル (成分1剤)	希釈倍数200倍 使用時期浸種前 24時間種子浸漬 使用回数1回			
定植	5月上旬	いもち病 ・ウシカ類・ツマグロヨコバイ ・イネズゾウムシ	デジタルコラトップ [®] アクト箱粒剤 (成分2剤)	使用量50g/1箱 使用時期 移植前3日～ 移植当日 使用回数1回			
	5月上旬 ～中旬	水田1年生雑草 ・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ ・ミズガヤツリ・ウリカワ ・ヒルムシロ・セリ・クログワイ ・オモダカ・コウキヤカラ ※多年生イネ科雑草 ※①のみ	①カウントダウン 1キロ粒剤 または ②カウントダウン フロアブル (成分3剤)	使用量 ①1kg/10a・湛水散布 ②500ml/10a・原液湛水 散布 使用時期 ①②移植直後～ ^レ ピ ^エ 3葉 期 (但し、移植後30日迄) 使用回数1回			
	1 6月上旬 ～中旬	水田1年生雑草 (イネ科を除く) ・マツバイ・ホタルイ ・ウリカワ・ミズガヤツリ ・ヘラオモダカ ・クログワイ・シズイ	①ハ ^レ サゲラン粒剤 または ②ハ ^レ サゲラン液剤 (成分1剤)	使用量 ①3～4kg/10a ②500～700ml/10a 使用時期 ①移植後15日～55日(但 し、収穫60日前まで) 使用回数1回 ②移植後15日～55日(但 し、収穫50日前まで) 使用回数2回以内 落水散布又はごく浅く 湛水して散布			
	2 6月上旬 ～中旬	ノビエ キシユウスズメノヒ エ アゼガヤ	①クインチャー1キロ粒 剤 または ②クインチャーEW または ③クインチャージャンボ [®] (成分1剤)	使用量 ①1kg/10a ②100ml/10a ③小包装20個/10a 使用時期 ①移植後7日～ ^レ ピ ^エ 4葉 期(但し、収穫30日前ま で) 使用回数2回以内、湛水 散布 ②移植後20日 ^レ ピ ^エ 6葉期 (但し、収穫30日前まで) 使用回数2回以内 ③移植後7日～ ^レ ピ ^エ 4葉 期(但し、収穫30日前ま で) 水田に小包装のまま投 げ入れる、使用回数2回 以内		1 または 2 または 3	

3 6月上旬 ~中旬	水田1年生雑草 (イネ科を除く) ・マツバイ・ホタルイ ・ウリカワ・ミズガヤ ツリ ・ヘラオモダカ ・セリ・クログワイ・シ ズイ・キシウスズメ ノヒエ	クンチャーバースME液 剤 (成分2剤)	使用量 1000ml/10a 使用時期 ①移植後15日~収穫5葉 期(但し、収穫50日前ま で) 使用回数2回以内 落水散布又はごく浅く 湛水して散布		
	6月中旬~ 7月中旬 (出穂前)	畦畔雑草刈り (耕種的雑草防除) いもち病・紋枯病 ・ウカ類・メイトウ ・ツマグロヨコバイ ・カメシ類			・畦畔の 草刈 り、疎 植栽培 による 健全な 稲作り
	7月下旬 (出穂後)	ウカ類・カメシ類 ・ツマグロヨコバイ	スタークル液剤10 (成分1剤)	無人ヘリ防除 希釈倍数8倍 散布量 0.8ℓ/10a 使用時期 収穫7日前迄 使用回数3回以内	
	9月上旬~ 9月中旬	収穫			・秋口の 耕起に よる雑 草種子 の除去 対策
収穫予 定8/20 ~9/20	9月下旬~ 収穫後水田耕起 (耕種的雑草防除)				
計		9成分			18成分 50.00%

前作からの変更点無し

7 その他資材

8 乾燥調整計画(米、麦、豆類及び茶で乾燥調整を行う場合に限る。)

乾燥調整 担当者	所属	東宇和農業協同組合 宇和営農生活センター		
	職氏名	宇和カントリー所長 河野 竜二		
	連絡先	西予市宇和町清沢1338-2 (TEL)0894-62-5231 (FAX)0894-62-5806		
乾燥調整施設	施設名	J Aひがしうわ大規模乾燥調整貯蔵施設 (C E ;カントリーエレベーター)		
	所在地	西予市宇和町清沢1338-2 (TEL)0894-62-5231 (FAX)0894-62-5806		
	施設名	J Aひがしうわ共同乾燥調整貯蔵施設 (R C ;ライスセンター)		
	所在地	西予市宇和町久枝 (TEL)0894-62-3600 (FAX)0894-62-3600		
実施時期		原材料数量(kg)	乾燥調整後の見込み数量(kg)	歩留(%)
令和3年9月上旬 ~10月上旬		6,269	4,200	67.0